

## フロテックス メンテナンスガイド

高密度にナイロンパイルを植毛したフロテックスは、耐久性・防水性・速乾性に優れる商品です。日常メンテナンスと定期メンテナンスを実施することで長期にわたって美観を維持することが可能です。

日常  
メンテナンス

## 予防清掃

●施設内の汚れの80%は外から運び込まれます。靴底に付着した泥・砂などが施設内に持ち込まれ、汚れが拡散します。このため、施設まわりの日常清掃も大切です。エントランスには以下の3段階のマット設置が汚れの持ち込み防止に効果を発揮します。

- ①まずは、玄関の外に、雨・風耐用型のマットを置きます。
- ②次に風除室内に雨の日の水分まで吸着するマットもしくはダストコントロールカーペットタイルを敷きつめます。
- ③最後に施設内に汚れ・埃・水分吸着用マットを敷きます。

※マットが汚れて泥・砂が飽和状態のまま放置すると逆にマットの汚れが内部に入ってきますので、マットは常に清掃してください。毎日のバキューミングと月1回の水洗いをおすすめします。

## 日常清掃

●日常清掃のポイントは、「汚れる前に予防清掃をする」ことです。汚れがひどくなる前に汚れの原因を取り除くことが長期にわたる美観維持につながります。

- ①アップライトバキュームで埃やゴミを取り除いてください。
- ②汚れや染みはきれいな水もしくは温水(40℃)を使用して取り除いてください。水や温水で落ちない場合は、希釈した中性洗剤を使用してください。
- ③水分や洗剤を完全に除去し乾燥させてください。



A. まず最初にスクレイパーなどで出来るだけ汚れを掻き集めて取り除いてください。



B. 水(必要に応じて少量の洗剤)を用いて、ブラシなどで汚れた部分を十分に擦り、汚水を雑巾などで吸い取ってください。



C. 最後に綺麗な水(またはお湯)を用いてリンスしながら、スクレイパーなどで汚水を集めて雑巾で吸い取ってください。必要に応じて数回繰り返してください。

定期  
メンテナンス

●日常メンテナンスで除去できない汚れが堆積してきたら、定期メンテナンスを行ってください。

- ①アップライトバキュームで埃やゴミを取り除いてください。
- ②希釈した洗剤を噴霧器等で塗布し、ポリッシャーで洗浄して汚れを取り除いてください。
- ③残った汚水、洗剤液はウエットバキュームやエクストラクターで回収して乾燥させてください。

※P.507のカーペットタイルメンテナンスガイドも合わせてご参照ください。

# カーペットタイル メンテナンスガイド

長期間美しく維持管理していくためのメンテナンス方法をご紹介します。

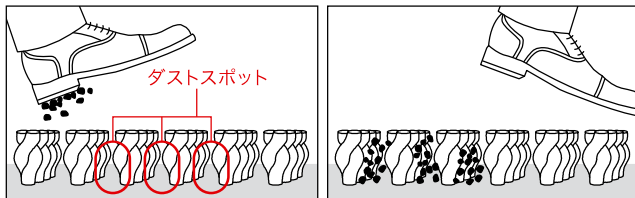
## ■予防メンテナンス

### 出入り口にマットの設置(マットメンテナンス)

- 商業(来客)施設の場合、施設内の汚れの80%は外から運び込まれます。
- 泥・砂・コンクリート粉・煤煙・アスファルトなどがお客様の靴底に付着し施設内のカーペットタイルでぬぐい去られます。外からの汚れを食い止めるのが、玄関マットです。
- まずは、玄関の外に、雨・風耐用型のマットを置きます。次に、風除室内に、雨の日の水分まで吸着するタイプのマットもしくはダストコントロールカーペットタイルを敷きつめます。なるべく広範囲に渡るマット類の使用が、施設内部の汚れを防ぎます。この玄関部のマット類が汚れて、泥・砂が飽和状態のまま放置すると効果は半減し、逆にマット類の汚れが内部に入ってきます。マット類が泥・砂を常に吸着しやすいように、常に、マット部も清掃しておきます。

### ■カーペットタイルの汚れの原因

カーペットタイルの汚れの80%は外部から持ち込まれます。お客様が自然に歩いて泥・砂を落とすには、約6mの除塵スペースが必要であると言われています。



※ダストスポット:パイルの間にある汚れを蓄積する場所

## 1.日常メンテナンス

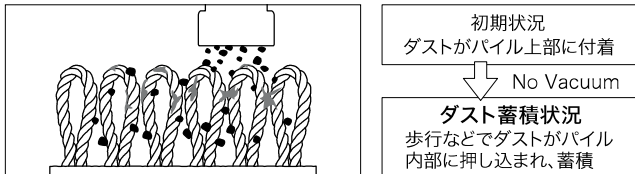
衛生維持を目的とします。(目安:毎日)

【表-A】

日常メンテナンス 汚れの分類例		
毎日のバキュームでドライソイルは除去します。		
1	砂、粘土	30~40%
2	酸化物、炭酸化合物	6~24%
3	炭素、カーボン	0~3%
4	髪の毛、動物の毛	10~12%
5	繊維、植物物質(綿ほこり)	10~12%

※【表A・B・C】の1~5が乾いた粒子で通常80%~90%を占めます。その他6・7・8の割合は少ないものの、著しく美観を損ねる原因となり、より高度なクリーニング技法が必要となります。

### 日常メンテナンスの重要性



掃除機バキューム

汚れの80%は乾いた粒子の汚れです。毎日のアップライトバキュームで除去。(出入り口付近は縦、横と2回かけてください)



シミ取り(早期発見→対処が重要です)

シミを見つけたら、カーペット専用洗剤を霧吹き等で散布し乾いたウェスで吸着させてください。

## 2.中間メンテナンス

衛生環境の改善を目的とします。(目安:3ヶ月~半年/回)

【表-B】

中間メンテナンス 汚れの分類例		
少量の洗剤で油汚れやドライソイルを除去します。		
1	砂、粘土	30~40%
2	酸化物、炭酸化合物	6~24%
3	炭素、カーボン	0~3%
4	髪の毛、動物の毛	10~12%
5	繊維、植物物質(綿ほこり)	10~12%
6	湿気	2~4%
7	ガム、樹脂	6~10%

※【表A・B・C】の1~5が乾いた粒子で通常80%~90%を占めます。その他6・7・8の割合は少ないものの、著しく美観を損ねる原因となり、より高度なクリーニング技法が必要となります。

### クリスタルクリーニングの実施例



バキューム

特殊洗剤散布

ロータリー

ブラシ洗浄

汚れを吸着した

洗剤を回収

- 中間メンテナンス工法/日常メンテナンスでは落ちない汚れを少量の特殊洗剤やスチームで除去します。

- ・パウダークリーニング
- ・ボンネットクリーニング
- ・ドライフォームクリーニング

※状況によりメンテナンスの頻度は異なりますので、必ず専門業者へご確認ください。

## 3.定期メンテナンス

蓄積してしまった汚れの除去を目的とします。(目安:半年~1年/回)

【表-C】

定期メンテナンス 汚れの分類例		
カーペット専用洗剤と水または温水で除去します。		
1	砂、粘土	30~40%
2	酸化物、炭酸化合物	6~24%
3	炭素、カーボン	0~3%
4	髪の毛、動物の毛	10~12%
5	繊維、植物物質(綿ほこり)	10~12%
6	湿気	2~4%
7	ガム、樹脂	6~10%
8	タール、オイル、油脂	3~8%
9	その他、未確定物質	1~3%

※【表A・B・C】の1~5が乾いた粒子で通常80%~90%を占めます。その他6・7・8の割合は少ないものの、著しく美観を損ねる原因となり、より高度なクリーニング技法が必要となります。

- 定期メンテナンス工法/カーペット専用洗剤で洗浄後にリンスして復元、蘇らせる工法が特徴。

- ・ロータリークリーニング
- ・スチームクリーニング
- ・エクストラクション

※衛生消毒薬品は必ず目立たない所でサンプリングをしてください。状況によりメンテナンスの頻度は異なりますので、必ず専門業者へご確認ください。



洗剤を出しながら

洗浄

水または温水でリンス

→乾燥

※詳しいメンテナンス方法は、カーペットタイルメンテナンスの知識と経験を持つライセンスに合格したクリーニングテクニシャンにご相談ください。

【日本カーペットクリーナーズアカデミー JCCA】  
www.japan-carpet.com